

令和4年度上天草市男女共同参画推進計画 年次報告書 < 概要版 >

※枠内左側は実施した主な取組みで、右側は別冊報告書のページ数です。

I 男女共同参画社会をめざす意識づくり

① 固定的な性別役割分担にとらわれない男女平等の意識づくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国男女共同参画週間(6月)及び市男女共同参画週間(1月)において、ポスターや懸垂幕の掲示、男性の育児休暇取得に関する看板設置などの啓発を実施した。 ・国や県などが作成したセミナー等の資料などを、可能な限り庁内に設置した。 	p.6
② 男女平等教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育や人権教育について、全校において全体計画の中に男女平等に関する内容を入れ、教育実践を展開するように指導した。また各校におけるキャリア教育の指導計画の中に、個性と能力を生かす将来及び進路について考える教育実践を展開した。 	p.7
③ 男女の人権尊重	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内人権擁護委員会を中心に特設人権相談所を12回開設した。 ・姫戸中学校1年生16名、大矢野中学校2年生106名を対象に、思春期講演会を実施した。 ・各校性教育の授業において、姓の多様性と人権尊重に対する理解に向けた実践を行った。 	p.8~9

III あらゆる分野での男女共同参画の促進

① 政策・方針決定の場への女性登用の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会等のメンバーは、性別関係なく経験や知識、役職等に基づき登用した。 <p>なお、地方自治法第202条の3に基づく審議会等の女性の登用率は26.2%。</p>	p. 18~20
② 雇用の場における男女共同参画の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・農業女性アドバイザー活動や家族経営協定の周知を実施した。 ・労働局やハローワークが発信する情報をHPや窓口などで周知した。 	p. 21~22
③ 地域・社会活動への男女共同参画推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会等が実施する事業にボランティア活動として参加し、市民の参画を促進した。 ・公民館活動や地域婦人会等の各種団体へ活動支援を行った。 	p. 23
④ 市の推進体制の強化	
<ul style="list-style-type: none"> ・市職員において、男女区別なく適任者を登用した(女性割合:課長級9.7%、課長補佐級16.7%) ・市職員の育児、介護休暇等については、国に準じた基準により運用した。 ・育児時間制度や給与の号給調整により支援を行った。 ・ハラスメント規程を整備し、ハラスメント窓口を設置した。 	p.24~25
⑤ 国際理解と交流の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・「E-Friends」事業においてサマーアクティビティや出前講座等を実施した。 <p>・外国語及び国際理解教育の充実を図るため、外国語指導助手を各小中学校へ派遣した。</p>	p.26

上天草市男女共同参画社会推進条例第21条の規定に基づき、毎年度、男女共同参画社会の形成の状況及び促進に関する施策の実施状況を明らかにするために年次報告書を公表しています。

この年次報告書概要版は、平成30年4月1日に策定した「第3次上天草市男女共同参画推進計画」の基本方針を基に、令和4年度に各課で実施した具体的な取組みの概要版です。

全体の取組内容については、別冊「令和4年度 上天草市男女共同参画推進計画 年次報告書」に記載しています。

< 基本理念 > つなぎあい 男女につくろう こころかようまち



II 男女が安心して暮らせる環境づくり

① 仕事と家庭の両立支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、一時預かり、休日保育等のサービスを実施した。 ・こころの健康づくりの出前講座(21人参加)を実施した。 ・健康づくりプログラムや公民館が行う自主講座等の支援を行った。 	p. 10
② パートナーに対するあらゆる暴力の根絶	
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止対策協議会を運営し、関係機関との連携を図った。 ・婦人相談員を設置し、DV相談・女性の悩みの相談を受けた。 	p. 11
③ 子育て支援の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ(11カ所)を開設し、放課後児童の受け入れを行った。 ・医療機関に病児保育事業を委託し、また保育園による自主的な受け入れを行った。 ・乳幼児の健診(85回)や育児相談(59回)の際に、集団及び個別に情報を提供した。 ・母子自立支援員を設置し、ひとり親家庭が相談できる体制を整えた。 ・授業参観等行事の日程について、保護者会と協議し、保護者が参加しやすい期間を設定した。 	p. 12~13
④ 男女の健康づくり支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進のため、各ライフステージにおいて健康診断や健康教育を実施した。 ・乳がん、子宮頸がん、大腸がん、肝炎ウイルス検診において、無料検診対象者に個別で通知書・クーポン券を送付し、受診しやすい体制づくりを行った。 ・食生活改善推進員による健康増進事業の展開、また推進員の育成研修会を4回実施した。 	p. 14
⑤ 高齢者等の生きがいづくりと生活支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防講演会は、コロナ感染症対策として、出前講座を14回開催した。 ・高齢者が自主的に介護予防に取り組むことができるよう、通いの場の立上げ・活動継続支援、いきいき高齢者教室を開催した。 ・自立支援に向けての障害福祉サービスの提供を行った。(利用者延人数7,866人) 	p. 15
⑥ 安心して暮らせる環境の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・日中一時支援事業は31人の利用があり、障がい者の家族の就労支援、介護負担の軽減の機会の提供を行った。 ・毎月1回、出張年金相談所を開設した。 ・災害時、防災無線や緊急情報メール、防災情報WEBアプリ等による情報発信を行った。 	p. 16~17